

高橋 美博 議員

情報発信の取り組みを強化すべき

**問** 15日号廃止分の情報を補完できるように、広報ふくろの紙面改善が必要ではないか。

**答** 4月1日号から内容を一新し、特集やコラムはテーマを掘り下げ、紙面のデザインやレイアウトも変更するなどして、より読みやすく、わかりやすい内容としていきたい。

**問** 予定しているホームページ改変のコンセプトやコンテンツ、目指す方向性は。

**答** 災害時でも継続して情報発信するためのシステムのクラウド化、動画サービスやSNSのよつな一般へ普及してきた新たな機能への対応、高齢者や障害者にも配慮した見やすく分かりやすいデザインを大きな柱としている。発信する情報の鮮度や内容の分かりやすさがポイントとなる。



4月からリニューアルされた袋井市ホームページ

**問** 自治体魅力度ランキングで全国787位と下位にある。都市や地域の売り込みを意識したシタイプロモーションの取り組みが必要ではないか。

**答** 都市間競争が激化する中、本市も人口減少が予測される。本市の魅力を国内外に発信し、定住人口や移住人口、交流人口などの増加を促すシタイプロモーションは極めて重要であると認識している。

沼上 賢次 議員

地域包括ケアシステム構築の取り組みは

**問** 高齢者が住み慣れた地域で生活を維持できるように、市の取り組む介護事業の方向性はどうか。

**答** 旧袋井市民病院内に総合健康センターを開設し、医療と介護の連携や認知症施策、介護予防を推進し、これらを一体的に受けられる支援体制として、地域包括ケアシステムの構築を目指す。認知症施策として、総合健康センターを基幹とし、初期集中支援チームや支援推進員の配置、認知症カフェを設置するなど、認知症の状態に応じた適切なサービス提供、初期支援を専門職が集中的に行い、自立をサポートする。

また、認知症の方や家族を支援する講座を開催し、徘徊による行方不明者の早期発見のため、地域や関係機関との連携を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整備していきたい。

AED貸し出し可能にすべき

**問** 地域や各団体などがスポーツイベント時の緊急事態に備えるため、市民向けにAEDの貸し出しができないか。

**答** 市や公民館が主催するイベントでは、公共施設のAEDを利用している。それ以外で貸し出しが必要な場合も考えられるので、貸し出しや管理の方法について調査・研究をしていきたい。



公共施設に設置されているAED